

広報

はちおうじの教育

1.15

2017(平成29年)
No.89

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばだけ未来へ～

おも 100年の‘想い’を 未来へ



～アルバムを広げて思い出ばなし～

小学校に残る古いアルバムを広げて、子どもたちに思い出ばなしをする中野上町二丁目在住の池田幸子さん。積み重ねてきた100年の歴史と地域への‘想い’を未来へ伝えます。

第九小学校で

—ひとりで悩まないで！—

八王子市の教育相談

保護者の皆さん

総合教育相談 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

受付時間

月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

東京都いじめ相談ホットライン 24時間受付

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310 なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。



百年の彩りを 次の100年の輝きへ

学校と地域の100年

八王子市が誕生して今年で100年。今号では、学校と地域の100年の歩みを写真とともに振り返ります。皆さんが住む地域や学校の歴史について、学校や郷土資料館などに残る写真や資料を調べてみてはいかがでしょうか。問い合わせは学校教育政策課(☎620・7403、☎627・8811)へ。



▲いつの時代も楽しみな給食の時間(中野北小学校/昭和44年)

昭和の中頃〜平成の初め 時代が変わっても
本市はこれまで9つの町村と合併の移り変わりとともに子どもたちの教育環境も変化してきました。昭和37年には、小学校で主食・おかず・ミルクが揃った給食の提供を開始しました。昭和40年代後半からは、市内各地で宅地開発が盛んに人口増加にともない子どもたちも増え、新たに多くの学校を開校しました。この頃から校舎は、木造から耐火構造の鉄筋コンクリート造となり、より安全な学びの場を整備しました。時代が変わっても変わらないものもあります。子どもたちの健やかな成長や、安全・安心な学びの場を守る思いは今も地域に根付いています。



▲子どもを見守る姿は今も昔も変わらず(八日町の交差点/昭和35年)



▲着物に下駄姿で(恩方第一尋常高等小学校/大正12年)

大正の初め〜昭和の初め 学校での子どもたち
八王子市が誕生した大正6年。この頃から昭和初期にかけて、学校での子どもたちはどのような生活をしていったのでしょうか。学用品は革や布製のランドセル、肩掛けのカバンなどに入れて通学。服装は詰め襟の学生服やセーラー服、着物に下駄履き姿の子どももいました。授業では「国語」や「理科」、「地理」のほか、算数にあたる「算術」や音楽にあたる「唱歌」などを学習しました。また、当時は紙が貴重だったため、兄弟姉妹で同じ教科書を使用。ノートの代わりに、何度も書き消しができる「石ばん」や「紙製ばん」を使って勉強しました。



▲一つの机に2人で並んで(昭和14年の八王子第一尋常小学校の卒業記念写真帳から)

其ノ式 卒業生を訪ねて



伊藤 清治さん
下柚木在住(98歳)
由木尋常高等小学校を昭和6年に卒業

当時の学校の周り是一片が田んぼで、下駄では歩きにくい道ばかり。それがニュータウン開発で、高層住宅が建つなど、風景は大きく変わりました。それでも、昔のまま残る自然豊かな里山や人とのつながりを感じるこの地域が大好きです。



▲開発前の由木地域(由木中央小学校/昭和39年)

—— 当時の学用品 ——



▲カタカナ表記の教科書

▲石ばん

▲布製のランドセル

未来に継承して

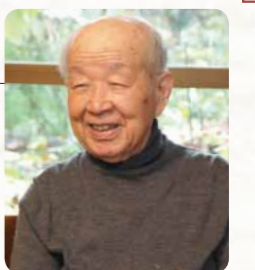
市立小・中学校では、市制100周年の学習として、市や学校の歴史を調べたり、地域の方から昔のようすを聞いたりするなど、学校や地域の紡いできた歴史を学びます。また、学校ごとに地域の特色を活かした取り組みも実施。恩方第二小学校では、上恩方町出身で、童謡「夕焼小焼」や同校の校歌を作詞した中村雨紅について学び、子どもたちの郷土への愛着を育てています。

地域にゆかりのある人物や自然環境、郷土料理などについて学習し、八王子のよさを未来に継承します。



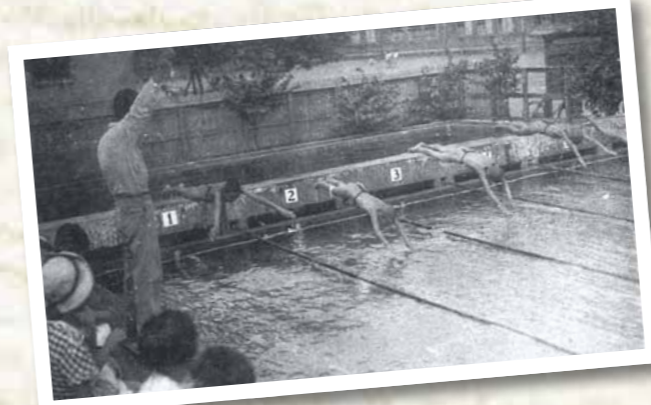
▲童謡「夕焼小焼」の碑の前で

其ノ式 卒業生を訪ねて



新藤 恵久さん
横山町在住(89歳)
八王子第四小学校を昭和15年に卒業

当時は、男女が別々の教室で授業を受けていたんですよ。1クラスは60名ほどで、机は2人で一つ。肩を並べて勉強しました。また、八王子市は水泳が盛んで、昔から学校にはプールがありました。私も毎日のように泳いでいましたよ。



▲水泳大会のようす(昭和14年の八王子第一尋常小学校の卒業記念写真帳から)

おおるり展を開催

児童・生徒の作品を展示

市立小中学校合同作品展「おおるり展」を開催。全市立小・中学校108校の児童・生徒が図画工作や美術、家庭科、書写で制作した作品を一堂に展示します。

色彩豊かに描かれた絵画をはじめ、ダンボールや粘土など、さまざまな素材で表現された立体作品が勢ぞろい。子どもたちの感性豊かな作品をぜひご覧ください。

日時 1月26～30日の午前10時～午後8時(30日は3時30分まで)
会場 エスフォルタアリーナ八王子



▲感性豊かな作品を一堂に

問い合わせ 指導課(☎6200・7405) 051-6200・7405

教育委員会の動き

5回の会議を開催

平成28年10月から12月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【協議事項】
○新郷土資料館整備基本構想(素案)について

【報告事項】
○平成28年度図書館まつりの実施結果について

○いずみの森小中学校における義務教育学校の制度導入に向けた検討について

○平成28年度八王子市立小・中学校の学力の状況について

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。また、定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
1月25日(水) 午前9時～	市役所本庁舎
2月11日(祝) 午後2時～	教育センター
2月22日(水) 午前9時～	市役所本庁舎

問い合わせ 教育総務課(☎6200・7323) 051-6200・7323

いずみの森小中学校改築事業

地域の核となる学校に

いずみの森小中学校改築事業では小・中学校と、児童保育所や地域コミュニティスペースなどを一体として整備する複合化事業を進めています。保護者や地域の方を中心とした改築検討委員会、基本コンセプトや建物配置について検討。教育委員会では、その内容を基に、基本設計を行い、現在、実施設計を行っています。

今後も地域と連携を図りながら、小・中学校9年間にわたる教育環境の充実と地域の核となる学校づくりを進めていきます。



▲いずみの森小中学校新校舎のイメージ図

問い合わせ 学校複合施設整備課(☎6200・7475) 051-6200・7475

中学生「東京駅伝」大会

優勝をめざって

中学生の健康増進や体力向上などを目的に、都内50の区市町村の中学2年生選抜チームによる「中学生「東京駅伝」大会」が開催されます。

男子は42・195キロメートルを17人で、女子は30キロメートルを16人で走ります。本市からも42名の生徒を選抜。優勝をめざして、たすきをつなぎます。

開催日 2月5日(日)
スタート時間 女子の部：午前10時、男子の部：午後1時
会場 味の素スタジアム(調布市)、都立武蔵野の森公園特設周回コース(府中市・調布市・三鷹市)



▲ゴールに向かってたすきをつないで

問い合わせ 指導課(☎6200・7405) 051-6200・7405

